



“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2005 **12** No.649

発行日 2005年(平成17年)12月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/
編集発行人 米倉孝治
定価 100円(税・郵送料込)
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「皆さんの笑顔が元気のもと」アコーディオンが大好きな大庭昌子さん(平塚市在住、69歳)は、音楽慰問のボランティア活動を始めて32年程になる。子どものおむつが取れたころ誰かと一緒に歌いたいと強く思い、電話帳で探した老人ホームから始まった。幼児からお年寄りの施設まで慰問は殆ど毎日で、市外も含め年間300回以上になる。「皆さんの顔は自分の鏡です。大好きな演奏で喜ぶ笑顔から元気をもらい、逆に励まされています。何とも言えない充実感。幸せな自分です。」と楽しそうに話す。(写真・文 菊地信夫)

あんどる

今年もはや一年が終わろうとしています。皆さんにとって今年はどうな年でしたか。

人々が望む幸福感は様々であっても、皆、昨日よりは今日、今日よりは明日に向けて心地よく暮らしていきたい、幸せでありたいと願って生きているのではないのでしょうか。

地域の支えあい活動は、生活の中の小さな困難を乗り越えようという気づきから始まります。自らの幸福を求めただけでなく、地域の中で互いに「幸せに生きよう」という思いが作用し合うことではないかと考えています。

介護保険法改正の柱は『予防重視型システム』への転換と言われていますが、まさに本腰を入れて取り組まなければならないのは、地域づくりにあるのでは、と思われまます。

最近の子どもは現実的で、とてつもなく大きな夢を持たなくなつたと言います。原因はやはり大人が夢を語りなくなつたことにも一因があるのかもしれない。

「二年の計は元日に在り」と言われますが、来年こそは、世代を超えて夢を語り、大きな夢や中ぐらいの夢、そして小さな夢を持って、この年末には、小さなことでも達成感が持てるような年越しがしたいものです。

かまくら地域介護支援機構
副理事長 樽井彰子

目次.....CONTENTS

- 障害者自立支援法の成立..... 2/3
- 高齢者虐待防止・養護者支援法 成立..... 4
- 障害者へのIT支援を考える研修会開催される..... 5
- 「子どもたちと歩んだ日々」刊行..... 6
- 長寿社会開発センターいきいきはつらつ..... 7
- 連載:サービスを生む育てる(9)..... 10/11